

## interview

建設業の仕事に就いたきっかけや、やりがい、  
これからの目標などを若手技術者の皆さんに聞きました。



父親と祖父も同じ仕事で、幼いころから工事現場を見る機会が多く、壮大でスケール感のある建設業に魅力を感じ、大学では土木を学びました。

現在は現場を管理する立場であることから、工事の品質管理だけでなく、作業員一人ひとりの安全管理など責任を感じますが、その反面やりがいもあります。やはり、関係者の方々からの「ありがとう」の一言が一番うれしいことです。

建設業の仕事は自然が相手ですし、まったく同じ現場はありません。一品ごとのオーダーメイドで物を造れることがこの業界の最大の魅力ですね。

若い人がこの仕事にやりがいを持ちつつ、安心して働ける業界にしていくことが目標です。



株式会社岡部  
土木部所属  
たか ひら ひろ し  
高平大司さん  
(38歳)

建設業は生活の基盤を整え、社会を支える重要な仕事です。それぞれが役割を果たし、協力し合ってチームでひとつの物を造り上げることが魅力です。工事が完成した時は達成感があり、近隣の住民の方々からお礼を言われた時はとても嬉しいですね。



朝日建設株式会社  
第一工事事務所  
かわさき まさみ  
川崎麻沙美さん  
(25歳)

元々、現場の仕事に興味があり高専で土木を学び、その知識を活かした仕事に就きたいと思い今の会社を選びました。今後も経験を積み、知識を身につけて、お客さんや上司から信頼される技術者になることが目標です。

建設業の仕事は、天候などの自然環境に振り回される時もありますが、それを乗り越えた後に得るものはとても大きいです。自分自身の財産にもなります。みなさん「頑張ろう」です。



昔から有名な建物を見ることが好きで、大学では建築を学びました。最初は3K(きつい、汚い、危険)のイメージはありましたが、在学時に参加した現場見学会ですごく良い印象を受け、それで実際に建物を造る仕事を選びました。

目の前で建物がどんどん出来上がるのが経験できますし、完成した建物を引き渡した時に、お客さんから喜んでもらえるのが一番のやりがいですね。

以前、祖母が入居している老人ホームの工事を担当しましたが、祖母にとっても喜んでもらえ、この仕事を選んで良かったと実感しました。

完成した建物はその後、何十年も残ります。自分が造った建物を子供に伝えることが楽しみです、誇りになります。実際に使っている状況を見るのもうれしいことです。



日本海建興株式会社  
建築部所属  
えがわ けい  
江川圭さん  
(30歳)

地域をつくり、  
安全・安心を支える

# 建設業



一般社団法人 富山県建設業協会

〒930-0094 富山県富山市安住町3-14 TEL 076-432-5576 FAX 076-432-5579  
<http://www.tomiken.or.jp/>



一般社団法人  
富山県建設業協会



## 建設業が担う役割

### 1. 社会資本の整備と維持・補修

道路や河川、港湾、空港、学校、上下水道など、私たちの安全で快適な暮らしを支える社会資本を整備しています。また、老朽化したこれらの施設の維持・補修、パトロールも行っています。

### 2. 災害対策工事・復旧活動

洪水や土砂くずれ、地震などに備えるための災害対策工事や災害訓練などを行っています。もし、災害が発生した時は、まっさきに現場に向かい、復旧活動に取り組みます。また、雪が降れば、車や人がスムーズに通れるよう除雪を行っています。

### 3. 雇用の創出

建設関連産業で働く人の数は、県内全体の就業者の約1割を占め、地域の経済と雇用を支える基幹産業となっています。



## 建設技術者の仕事

建設技術者は、建設工事現場の施工管理を行います。施工管理とは、主に現場における工程や品質、安全などの管理を指します。技術者の仕事は、建設現場の最前線でものづくりに携わる、やりがいと達成感のある魅力的なものです。

### 1. 工程管理

工事に取り掛かる前に、施工計画を立てる必要があります。契約期間内に工事を完成させるための作業の段取りを決め、必要な材料や機械の調達、専門工事業者や職人の手配を行います。また、計画通りに進んでいるかを常に管理し、工事の完成を目指します。

### 2. 品質・出来形管理

構造物は、設計などに基づく規格を満たす必要があります。技術者は、仕様書・設計書に沿った施工がなされ、求められている形状や寸法、品質を確保しているかを常に管理し、工事を進めます。

### 3. 安全管理

現場の労働災害を防止して安全に作業ができる環境をつくる必要があります。技術者は、関係法令等に基づく安全対策を講じるとともに、毎日の作業内容を把握し、作業員へ特に注意が必要な個所などを伝えます。

### 4. 原価管理

建設企業の利益は、現場の利益で決まります。技術者は、工事の実行予算を決め、材料費や下請作業の見積もり金額を確認しながら、予定している利益を確保できるよう、工事を進めます。

このように建設技術者は、現場全体を把握し、計画通り工事が進むようマネジメントする大変重要な役割を担っています。また、下請企業への作業指示、施工管理にあたり必要な発注者との協議、工事に関する書類の作成や工事写真の整理なども仕事のひとつです。



## 建設工事の流れ

### ① 地域のニーズ



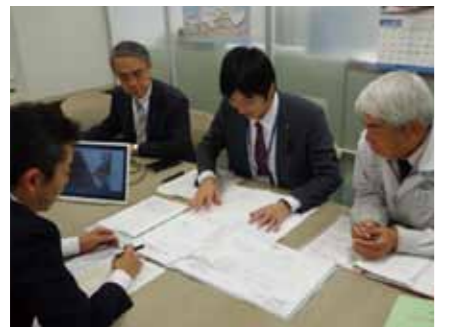
「危険な歩道を安全にしてほしい」、「道路渋滞を解消してほしい」、「大雨時に河川が氾濫しそうなので改善してほしい」、「学校や病院を整備してほしい」など、住民は地域の要望を国・県など行政に伝えます。

### ② 計画・事業説明会



行政は要望について検討し、事業化を図る場合は工事の基本となる計画をまとめた上で、地元住民に事業の内容を説明します。

### ③ 設計



様々な意見を考慮し、工事を実施するための具体的な設計図を作成します。

### ④ 施工



設計図をもとに、期間内の完成を目指し工事を進めます。

### ⑤ 完成



完成した施設は、安全で快適に使用できるように、日々パトロールや点検を行い、異常があれば速やかに補修します。

## 専門工事の紹介

実際の工事現場では、とび・土工・コンクリートや鉄筋、型枠大工、左官、内装、舗装など、さまざまな作業員・職人が働いています。

### とび



工事に必要な足場や、鉄骨を組み立てる仕事です。

### 鉄筋



構造物の中に入れる鉄筋を加工し、組み立てる仕事です。

### 型枠大工



コンクリートを流し込む型枠を作製し組み立てる仕事です。